

# 平成 30 年度 事業報告

## ライフケアセンター オークス東海

特別養護老人ホーム オークス東海(短期入所)

オークス東海デイサービス

居宅介護支援事業所

在宅サポートオークス東海

オークスライフサイエンス学院

社会福祉法人オークス・ウェルフェア

## 目次

特別養護老人ホーム オークス東海	1
外部研修参加状況	4
内部研修実施状況	6
ユニット活動報告	7
委員会活動報告	16
特別養護老人ホーム オークス東海短期入所	25
オークス東海デイサービス	26
居宅介護支援事業所 オークス東海	27
在宅サポート オークス東海	28
オークスライフサイエンス学院	33

特別養護老人ホーム オークス東海

【入居・退去状況】

1、特別養護老人ホーム利用状況

定員 90 名

市長村名	本期初日現員	入所人員	退所人員	本期末現員	
東海村	59	15	9	65	
ひたちなか市	17	2	6	13	
水戸市	1	1	1	1	
常陸太田市	1	2	1	2	
日立市	5	1	3	3	
那珂市	2	0	0	2	
城里町	1	0	0	1	
大里広域市町村組合	1	0	1	0	
いわき市	1	0	0	1	
加須市	0	1	0	1	
県内計	86	21	20	87	
県外計	2	1	1	2	
合計	88	22	21	89	
内訳	男	20	5	7	18
	女	68	17	14	71

2、特別養護老人ホーム稼働率

	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月
稼働率	98.0%	97.9%	99.0%	93.2%	95.7%	96.9%
実態数	2650人	2732人	2676人	2599人	2670人	2618人
在籍数	2679人	2766人	2692人	2790人	2785人	2686人
最大可能数	2700人	2790人	2700人	2790人	2790人	2700人

	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月
稼働率	98.0%	95.2%	95.3%	97.3%	94.8%	93.9%
実態数	2726人	2573人	2659人	2716人	2391人	2621人
在籍数	2778人	2695人	2767人	2757人	2510人	2689人
最大可能数	2790人	2700人	2790人	2790人	2520人	2790人

### 3、入居者介護度、年齢別状況

	人数	要介護度					年齢				平均	
		1	2	3	4	5	61～	71～	81～	91～	年齢	89.86 歳
男	18		1	9	5	3		3	11	4	入所期間	2年9ヶ月
女	72	1	4	28	26	13		11	28	33	要介護度	3.62
計	90	1	5	37	31	16		14	39	37	申込者数	47人

平成 31 年 3 月

#### 【各委員会の活動】

1、リスクマネジメント、QOL向上、質の高いケアの提供のために次の委員会活動を実施しました。

- ・安全感染対策委員会、給食委員会、身体拘束適正化委員会、排泄委員会、行事レク委員会、環境美化委員会、接遇教育委員会、安全衛生管理委員会。

詳細は各委員会の報告通りです。

2、施設全体の情報共有、施設運営のために次の会議を実施しました。

- ・ユニット会議（毎月1回）、リーダー会議（毎月1回）、運営会議（毎月1回）、入居判定会議（毎月1回）

また、法人全体の意見交換と情報共有の為に以下の部会を開催しました。

（看護部会）

年3回開催していました。

（ケアマネ部会）

毎月集会を行い、勉強会を実施しました。

（栄養士会）

H30年6月26日開催しました。

#### 【研修】

外部・内部研修を通して、職員のスキルアップを図り、ケアの質の向上に努めました。年間の研修参加状況は別紙をご参照ください。

#### 【地域との繋がり】

入居者様の社会生活を継続し、更に地域福祉の拠点としての役割を果たしました。

##### 1、地域交流

① 入居者様の外出支援、外泊支援。

② 施設見学の受け入れ

見学のみ：10名

入居検討者：31名

- ③ 地域園児や学生、市民活動ボランティアの慰問受け入れ
- ・園児：サンフラワーこどもの森保育園（H30年10月25日）  
百塚保育所（H30年11月12日）
  - ・東海南中：総勢41名（H30年6月6、7、8日）
  - ・教員免許志願者介護体験：5名
  - ・音楽ボランティア：毎月5回 ユニット巡回し活動
  - ・見守り傾聴ボランティア（はーとふる）：実働8人
  - ・清掃ボランティア：水戸信用金庫（H30年6月9日）
  - ・施設行事慰問：新年会、納涼祭、敬老会で実施

## 2、相談活動、苦情相談

- ① 入居者様やご家族様からの相談・苦情には、すぐに対応し、安心して生活できる環境を整えました。
- ・特養：0件、デイ：0件
- ② 地域の皆様からの福祉全般にわたるご相談にも随時対応いたしました。
- ・来所しての介護相談、電話での介護相談がありました。
- ③ 介護相談三者連絡会（年2回）において、介護相談員様との情報交換をしました。
- ④ 頂いた苦情については、対応策を協議し謝罪・報告・掲示しております。

### 【福利厚生】

社会福祉法人オックス・ウェルフェア合同親睦会の規約に基づいて活動しました。

外部研修参加状況

月 日	研修名	参加者
2018/4/7	H30 年度第 1 回 NPO 法人茨城ケアマネジャー協会 特別講演「住み慣れた地域で人生の最期まで過ごせる社会を目指して」	内藤 さおり
		萩原 里佳
2018/5/15	機能訓練加算（口腔機能向上加算、個別機能訓練加算Ⅱ）の取得 を目指すセミナー	墨谷 しのぶ
		篠崎 良恵
2018/6/24	防犯・防災研修及び自主防災訓練	内藤 さおり
		市毛 利佳
2018/6/26	衛生講習会	嘉村 直道
		白土 ひとみ
		長江 千春
		白川 ひとみ
2018/7/9・10	全国社会福祉法人経営青年会「基礎講座」	祖田 光
2018/7/23～25	ユニットリーダー研修	桐原 奈緒也
2018/7/24	リーダーシップ パワーアップセミナー	仁田 沙由香
		横山 友紀
2018/8/22・23	全国社会福祉法人経営青年会 コーチングスキルアップ講座	内藤 さおり
2018/9/18	看取りケア研修会	宮田 美夏
		林 さゆり
		加藤 佳奈
		這禽 千賀子
2018/9/20	ひたちなか保健所管理感染症対策研修会	高際 貴子
		野田 素子
2018/9/27・28	社会福祉法人経営青年会「専門講座」 実践と事例を通して学ぶ「人材確保力」強化セミナー	祖田 光
2018/9/26	HACCP の考え方と施設の衛生管理について	佐藤 渚
2018/10/1	施設長・管理者研修	祖田 光
2018/10/2	安全運転管理等研修	墨谷しのぶ
2018/10/9・10	職員育成と組織の活性化を図る職場のリーダーになろう	工藤 正貴
2018/10/12	集団給食施設研修会	嘉村 直道
2018/10/17	接遇・コミュニケーションスキル技術向上研修会	河西 里佳
		黒澤 大志
2018/10/31	社会福祉施設等看護職員研修「施設における感染症対策豆知識」	高際 貴子
2018/11/9	通所介護事業所研修会	墨谷しのぶ
		篠崎 良恵

2018/10/9	「個別ケアとケアプラン」についての研修	柴田 めぐみ
		照沼 真佐子
2018/11/11	よりよいチームになるためのコミュニケーションのとり方について学ぶ	小澤 春香
2018/11/20	コミュニティソーシャルワークの理解を深めようとするにはどう対応すべきか	内藤 さおり
		山口 智子
2018/11/27	身体拘束廃止取組職員向研修	飛田 久美子
2018/11/27～	茨城県主任介護支援専門員 更新研修	内藤 さおり
2019/12/19	県北ブロック介護課長・主任研究会	墨谷 しのぶ
2018/1/12	ケアデザインサミット	祖田 光
		池田 匡
		桐原 奈緒也
		川崎 捺緒
		飯塚 雅人
2019/1/21～23	ユニットリーダー研修	池田 匡

内部研修（伝達講習）実施状況

日 時	内 容	担当及び講師
4月1・2・3・5・6日	新卒入職者研修	祖田 光
5月10日	認知症ケアについて(伝達講習)	工藤 正貴
5月15・18・22日	服薬介助について	安全感染対策委員会(高際/蛭沢)
6月5・15・25日	救命救急講習会(心臓マッサージ、AEDの使い方)	安全感染対策委員会(岩城/高際)
6月13日	スライディングシート使用方法勉強会(伝達講習)	桐原 奈緒也
7月2・9・30日	手洗い講習・食中毒に関する注意喚起	栄養課 嘉村直道
7月5・13・19日	身体拘束について	身体拘束適正化委員会
8月2日	消化訓練について	池田 匡
9月3・7日 10月9日	オックス・ウェルフェア 全体研修	講師：森近恵理子さん 担当：理事長、jfk、祖田
10月15・23・31日	ノロウィルス/吐物処理勉強会	安全感染対策・給食委員会合同
11月13・22・28日	ドラッグロックを行わないために何ができるだろうか	身体拘束適正化委員会
12月5日	避難訓練	池田 匡



なでしこユニット

	ユニット行事
4月	入居者様誕生日会
5月	外出レク（ファッションクルーズ）
6月	
7月	納涼祭
8月	
9月	敬老会、入居者様誕生日会
10月	
11月	外出レク（笠松運動公園、外食）入居者様誕生日会
12月	クリスマス会、入居者誕生日会
1月	新年会、書初め、入居者様誕生日会
2月	節分、入居者様誕生日会
3月	ひな祭り、入居者様誕生日会

・毎月1回 音楽ボランティア

ふじ ユニット

平成 30 年 4 月 おやつレク (クレープ作り)

平成 30 年 5 月 外出レク (海浜公園) × 2 回

平成 30 年 7 月 納涼祭

平成 30 年 8 月 誕生日会

平成 30 年 9 月 敬老会・誕生日会

平成 30 年 10 月 外出レク (ココス)・誕生日会

平成 30 年 11 月 外出レク (ココス)・誕生日会

平成 30 年 12 月 クリスマス会・誕生日会

平成 31 年 1 月 新年会・誕生日会

平成 31 年 2 月 節分飾り作り

平成 31 年 3 月 ひなまつり・外出レク (お花見)

月 1 回 音楽レク

月 1 ~ 2 回 書道クラブ 運動クラブ

たけ ユニット

	活動内容
平成30年4月	おやつ作り（クレープ）・誕生日会
平成30年5月	外出レク×2回（海浜公園）
平成30年7月	納涼祭
平成30年8月	誕生日会
平成30年9月	敬老会・誕生日会
平成30年10月	外食レク（ココス）・誕生日会
平成30年11月	外食レク（ココス）
平成30年12月	クリスマス会・誕生日会
平成31年1月	新年会
平成31年2月	節分飾り作り
平成31年3月	お花見外出レク（笠松運動公園）・誕生日会

月1回音楽ボランティア・月1回～2回書道クラブ、体操クラブ

かしわ ユニット

	ユニット行事	特養行事
平成 30 年 4 月	・外出レク(お花見) ・カラオケ大会	
平成 30 年 5 月	・カラオケ大会	
平成 30 年 6 月	・カラオケ大会	
平成 30 年 7 月	・七夕短冊作り ・カラオケ大会	納涼祭
平成 30 年 8 月	・おやつ作り(かき氷、アイス等) ・カラオケ大会	
平成 30 年 9 月	・カラオケ大会	敬老会
平成 30 年 10 月	・外出レク(紅葉) ・カラオケ大会	
平成 30 年 11 月	・カラオケ大会	
平成 30 年 12 月	・カラオケ大会	クリスマス会
平成 31 年 1 月		新年会
平成 31 年 2 月		節分(豆まき)
平成 31 年 3 月		

※毎月一回、ボランティアによる音楽療法(たちばなユニットと合同)

※入居者様の誕生日には、お誕生会を行う。

たちばな ユニット

《活動行事》

4月 1日 (日)	花見 (上高場公園)
5月 16日 (水)	お茶会 (ユニットリビング)
6月 12日 (火)	お楽しみ会 (ホットケーキ作り)
7月 6日 (金)	七夕会 (ユニットリビング)
22日 (日)	納涼祭 (船場ホール)
8月 17日 (金)	お楽しみ会 (ユニットリビング)
9月 9日 (日)	敬老会 (デイサービス) ※ひょっこり・よさこい
27日 (木)	歌会
10月 21日 (日)	十三夜 (お供え)
11月 4日 (日)	紅葉ドライブ (笠松運動公園)
12月 24日 (月)	クリスマス会 (ユニットリビング)
1月 5日 (土)	絵馬を書く (ユニットリビング)
6日 (日)	新年会 (ユニット) ※獅子舞踊り
2月 3日 (日)	節分・豆まき (ユニット)
14日 (木)	くじびき大会 (ユニットリビング)
3月 3日 (日)	ひな祭り会 (ユニットリビング)

※毎月1回 音楽療法

※入居者様誕生日に誕生会

あやめ ユニット

	ユニット行事	特養行事
平成 30 年 4 月	お花見ドライブ	熊谷・照沼
平成 30 年 5 月	作品作り（箸置き）	田中・安嶋
平成 30 年 6 月	七夕飾りの作成	津幡・（青木）
平成 30 年 7 月	庭でお茶	納涼祭 木下・（早番）
平成 30 年 8 月	音楽観賞会	熊谷
平成 30 年 9 月	外出レク	敬老会 熊谷・田中
平成 30 年 10 月	お菓子作り	安嶋
平成 30 年 11 月	紅葉ドライブ（笠松）	齋藤（祐）・照沼
平成 30 年 12 月	年賀状	田中・安嶋
平成 31 年 1 月	お正月遊び	
平成 31 年 2 月	TV鑑賞（事前に予約）	豆まき
平成 31 年 3 月	ひな祭り・お茶会	

さつき ユニット

《活動行事》

- |     |         |
|-----|---------|
| 4月  | お花見ドライブ |
| 5月  | カレンダー作り |
| 6月  | 七夕飾り作り  |
| 7月  | 七夕会     |
| 8月  | 音楽観賞会   |
| 9月  | 敬老会     |
| 10月 | かるた作り   |
| 11月 | 紅葉狩り    |
| 12月 | クリスマス会  |
| 3月  | お茶会     |

## うめ ユニット

### 《活動行事》

4月15・25日	外出レク（お花見ドライブ）
6月27日	お楽しみ会
7月1日	七夕会
7月24日	納涼祭
9月11日	敬老会
9月30日	ウッドデッキでお茶会
11月7日	紅葉ドライブ
12月24日	クリスマス会（プレゼント配布）
1月6日	新年会 獅子舞踊り
2月3日	節分 鬼のお面色塗り

※毎月1回 ボランティアによる音楽療法（ももユニットと合同）

※入居者の誕生日には、お誕生日会を行う。



もも ユニット

《活動行事》

- |          |                 |
|----------|-----------------|
| 4月15・25日 | 外出レク（お花見ドライブ）   |
| 6月27日    | お楽しみ会           |
| 7月1日     | 七夕会             |
| 7月24日    | 納涼祭             |
| 9月11日    | 敬老会             |
| 9月30日    | ウッドデッキでお茶会      |
| 11月7日    | 紅葉ドライブ          |
| 12月24日   | クリスマス会（プレゼント配布） |
| 1月6日     | 新年会 獅子舞踊り       |
| 2月3日     | 節分 鬼のお面色塗り      |

※毎月1回 ボランティアによる音楽療法（うめユニットと合同）

※入居者の誕生日には、お誕生日会を行う。

安全・感染対策委員会

月	活動内容	担当者	備考
4月	・ひやりはっと、事故報告書の内容検討 ・前年度活動報告 ・内部研修①準備	植田	
5月	・ひやりはっと、事故報告書の内容検討 ・内部研修①→同じ内容で3回 ・内部研修②準備	高際	《研修①内容》 服薬介助について 5/15、18、22実施 (36名参加)
6月	・ひやりはっと、事故報告書の内容検討 ・内部研修①反省会 ・内部研修②→同じ内容で3回	山口	《研修②内容》医務と合同 救急救命講習 6/5、15、25実施 (69名参加)
7月	・ひやりはっと、事故報告書の内容検討 ・内部研修②反省会	平林	
8月	・ひやりはっと、事故報告書の内容検討	岩城	
9月	・ひやりはっと、事故報告書の内容検討 ・内部研修③準備	舛井	9/20外部研修「高齢者施設における感染症対策について」野田、高際参加 →伝達講習実施
10月	・ひやりはっと、事故報告書の内容検討 ・内部研修③→同じ内容で3回	野田	《研修③内容》給食委員と合同 ・インフルエンザ・ノロ対策・吐物処理 方法 10/15、23、31実施 (63名参加) 10/31外部研修「施設における感染対策 豆知識」高際参加→伝達講習実施
11月	・ひやりはっと、事故報告書の内容検討 ・内部研修③反省会	熊谷	
12月	・ひやりはっと、事故報告書の内容検討	大内	
1月	・ひやりはっと、事故報告書の内容検討	大山	1/25～入居者3名、職員4名インフルA発 症 面会制限1/30～2/17実施
2月	・ひやりはっと、事故報告書の内容検討	岡崎	
3月	・ひやりはっと、事故報告書の内容検討 ・年間活動の反省と次年度の活動計画	西尾	

## 給食委員会

食べるということは最も自然な栄養補給方法です。食べることによって食欲が満たされ、満足感が得られます。家族や友人など誰かと一緒に食卓を囲み、快い食事をする事で、栄養分の吸収力が高まり、ストレスの解消や心の安定も得られます。

ただ生きるためだけの食事を提供するのではなく、食事の意味、楽しさ、大切さといった「心の栄養」を提供することを目標とした活動を行いました。

### ① 年間活動・行事報告

4月	バイキング	10月	十三夜/バイキング
5月	こどもの日/バイキング	11月	バイキング
6月	バイキング	12月	冬至/クリスマス/バイキング
7月	七夕/土用の丑の日/バイキング	1月	正月/七草粥/バイキング
8月	バイキング	2月	節分/バイキング
9月	敬老の日/十五夜/バイキング	3月	ひな祭り/バイキング

### ② 月別平均食事提供数（職員含む）

	朝食	昼食	夕食	合計
4月	88.7	120.6	88.9	298.2
5月	91.6	125.4	91.7	308.7
6月	92.1	122.7	92.3	307.1
7月	91.3	124.1	91.7	307.1
8月	89.7	124.5	90.0	304.2
9月	89.2	122.5	89.4	301.1
10月	88.8	124.2	88.8	301.8
11月	89.8	125.0	90.0	304.8
12月	90.0	121.0	90.0	301.0
1月	89.5	117.6	89.6	296.7
2月	85.7	114.8	86.2	286.7
3月	89.7	119.8	90.0	299.5
年間	89.7	121.9	89.9	301.5

③ 給食委員会活動内容

月	活動内容	備考
4月	・定例会 ・年間活動計画立案・見直し	定例会
5月	・定例会	・利用者（特養/ショート/デイ）の身体状況及び 栄養状態の報告、対策の検討
6月	・定例会 ・上半期施設内部研修準備	
7月	・定例会 ・上半期施設内部研修実施	上半期施設内部研修 ・手洗い講習 ・食中毒に関する注意喚起
8月	・定例会 ・上半期施設内部研修反省	下半期施設内部研修 ・ノロウイルス対策勉強会
9月	・定例会	・吐物処理の実践（安全・感染対策委員会と合同実施）
10月	・定例会 ・下半期施設内部研修準備	
11月	・定例会 ・下半期施設内部研修実施	
12月	・定例会 ・下半期施設内部研修反省	
1月	・定例会	
2月	・定例会	
3月	・定例会 ・嗜好調査 ・本年度活動反省	

身体拘束適正化委員会

月	実施日	内容
4月	10日	定例会議
	25～30日	実態調査
	2日	新人研修
5月	8日	定例会議
	25～31日	実態調査
6月	12日	定例会議
	24日～30日	実態調査
	14日	第1回 身体拘束廃止大委員会
7月	11日	定例会議
	5日 13日 19日 ※同内容3回実施	施設職員研修① 養介護施設従事者向け「高齢者虐待」DVD 視聴※不適切なケアに対するより良い対応を皆で検討する。 アンケート実施する。
	25～31日	実態調査
8月	14日	定例会議
	25～31日	実態調査
9月	11日	定例会議
	24～30日	実態調査
10月	9日	定例会議
	25～31日	実態調査
11月	13日	定例会議
	24～30日	実態調査
	13日 22日 28日 ※同内容3回実施	施設内職員研修② 意識調査とグループワーク ※『虐待の芽チェックリスト』の意識調査実施 『ドラッグロック』を行わないために何ができるだろうか
12月	11日	定例会議
	25～31日	実態調査
1月	8日	定例会議
	25～31日	実態調査
2月	12日	定例会議
	22～28日	実態調査
	15日	第2回 身体拘束廃止大委員会
3月	13日	定例会議
	25～31日	実態調査

行事レク委員会

月	行事	内容
4月	①定例会 ②年間活動計画立案 ③お花見④誕生会	お花見ドライブ 各ユニットで外出し、お花見を兼ねたドライブへ行きました。
5月	①定例会 ②端午の節句 ③誕生会	端午の節句 おやつに柏餅を出して頂き、ユニットの皆様で召し上がって頂きました。
6月	①定例会 ②お茶会 ③誕生会	お茶会 各ユニット対応で、お茶会を行いました。
7月	①定例会 ②納涼祭 ③誕生会	納涼祭 納涼祭を開催し、入居者様、ご家族様とも食事や出し物、ゲームを楽しんで頂きました。
8月	①定例会 ②お茶会 ③誕生会	お茶会 各ユニット対応で、お茶会を行いました。
9月	①定例会 ②敬老会 ③誕生会	敬老会 ボランティアさんによる余興を楽しんで頂きました。 米寿・白寿・百寿のお祝いを行いました。
10月	①定例会 ②紅葉ドライブ ③誕生会	紅葉ドライブ 各ユニットで外出し、紅葉の織り成す自然の風景を楽しんで頂きました。
11月	①定例会 ②紅葉ドライブ ③誕生会	紅葉ドライブ 各ユニットで外出し、紅葉の織り成す自然の風景を楽しんで頂きました。
12月	①定例会 ②クリスマス会 ③誕生会	クリスマス会 各ユニットにて、クリスマス会を開催しクリスマスプレゼントをお渡ししました。
1月	①定例会 ②新年会 ③誕生会	新年会 職員手作りの獅子舞披露、施設内神社にお賽銭やお詣りをして頂き、新年をお祝いしました。
2月	①定例会 ②節分 ③誕生会	節分 豆まきで、無病息災、幸福を願って頂きました。 昼食に、恵方巻きを召し上がって頂きました。
3月	①定例会 ②雛祭り ③誕生会	雛祭り 用意できるユニットは雛壇飾りを飾って頂きました。 昼食に、ちらし寿司を召し上がって頂きました。

## 排泄委員会（褥瘡予防）

### ○メンバー：

山崎、安嶋、嘉村、高際、平石、瀬谷、菊池、福田、山本、大和、白川

### ○定例会開催：毎月第1火曜日 14時より

### ◎活動方針：

- ・オムツ発注・補充・在庫管理業務を通し、最適な排泄環境を提供する。
- ・オムツ使用者の課題点を出し合い、意見交換や解決に向けての話し合いを行う。
- ・メーカー担当者招致による内部研修や、外部研修受講者の施設内勉強会を開催し、職員の排泄の知識と技術の向上を図る。
- ・看護師、管理栄養士、ユニットスタッフ間の情報共有を行い、褥瘡になりそうな方、現在なっている方の把握をする。

### ◎月別実施報告

4月	①定例会	②オムツ使用状況調査	③年間活動計画立案
5月	①定例会	②オムツ使用状況報告	③発注方法等検討
6月	①定例会		
7月	①定例会		
8月	①定例会	②補充・在庫管理方法検討	③内部研修準備（メーカー担当者招致による）
9月	①定例会	②内部研修開催（メーカー担当者招致による）	
10月	①定例会	②上記の反省会	
11月	①定例会		
12月	①定例会		
1月	①定例会		
2月	①定例会		
3月	①定例会	②年間活動報告	年度末反省会

### 反省点

- ① 退職によりメンバーの変更があったが、協力しあい排泄業務に支障が無いように発注・出庫が行えた。
- ② メーカー様招致により、新人に対し内部研修を実施したが、他委員会との研修の兼ね合いにより、実施が前年度よりも遅くなってしまった。
- ③ リハビリパンツのサイズの種類を増やし、利用者様の体型の変化に合ったオムツの装着が可能になった。同時に使わなくなったサイズをユニット間で融通し、在庫整理をした。
- ④ 利用者様にとって最適な排泄用品を考えることが出来た。利用者様の状況は絶えず変化しているので、今後も引き続き考えていきたい。
- ⑤ 今年度から、褥瘡について委員会での話し合いがあったが、看護師、管理栄養士、ユニットスタッフ間の情報共有を行うことができた。

## 環境美化委員会

- 平成 30 年 4 月 委員会開催・施設見回り(デイ浴室)・意見交換・各ユニットへのカーテン洗濯依頼
- 5 月 委員会開催・意見交換・各ユニットへのエアコン清掃依頼
- 6 月 委員会開催(26日)大掃除前の水源・清掃箇所チェック
- 7 月 大掃除(17日)
- 8 月 委員会なし
- 9 月 委員会開催(25日)定期報告・意見交換・11月大掃除について
- 10 月 委員会開催(23日)
- 11 月 大掃除(13, 14日)清掃後委員会開催
- 12 月 委員会開催(25日)意見交換
- 平成 31 年 1 月 委員会開催
- 2 月 委員会開催
- 3 月 委員会開催・施設外回り見回り(意見提出)

その他適時、換気扇シート取り換え等



## 接遇教育委員会

- 4月 ①定例会議
  - ②年間活動計画立案
  - ③新卒職員研修
- 6月 ①定例会議
  - ②職員対象公用車研修（6/4、6/6）
- 8月 ①定例会議
  
- 10月 ①定例会議
- 11月 ①職員対象公用車研修（11/5、11/8）
- 12月 ①定例会議
- 2月 ①定例会議
  
- 3月 ①定例会議
  - ②年間活動報告、年間反省会

\*不定期、抜き打ちで月の担当者が職員の身だしなみチェックを実施。

### 内容

定例会議においては、身だしなみチェックにおける問題点の共有、チェック表の改訂、公用車研修の担当決め、参加者確認 等を実施。

以上

## 安全衛生管理委員会

### 1、活動目的

- ・職場内の安全衛生管理を円滑に推進する。

### 2、参加者

- ・委員長…産業医 1 名
- ・委員…衛生管理者（2 種）1 名、委員 5 名

### 3、活動内容

- ① 安全な職場環境の保持と職員の心身の健康管理のため以下の活動を行いました。

月	活動内容		
4 月	委員会	職場巡視	勉強会
5 月	委員会	職場巡視	勉強会
6 月	委員会	職場巡視	勉強会 夜勤実施職員健康診断 全職員腰痛調査
7 月	委員会	職場巡視	勉強会 健康診断・腰痛調査結果確認(産業医)
8 月	委員会	職場巡視	勉強会
9 月	委員会	職場巡視	勉強会
10 月	委員会	職場巡視	勉強会
11 月	委員会	職場巡視	勉強会 健康診断・腰痛調査・ストレスチェック実施(全職員)
12 月	委員会	職場巡視	勉強会 健康診断・腰痛調査・ストレスチェック結果確認(産業医)
1 月	委員会	職場巡視	勉強会
2 月	委員会	職場巡視	勉強会
3 月	委員会	職場巡視	勉強会

- ② 産業医との面談希望職員には、秘密保持された状況での面談を実施しました。

## 特別養護老人ホーム オークス東海 短期入所

「本人・家族に身体的・精神的な安心を提供する」を短期入所の基本理念とし、本人様・家族様が短期入所を利用して良かったと感じることが出来るよう、活力のある有意義なサービスの提供を目標にまいりました。

### 1. 活動行事（特養の行事含む）

- 4月 活動なし
- 5月 活動なし
- 6月 活動なし
- 7月 納涼祭 外出レク（ソフトクリーム）
- 8月 活動なし
- 9月 外出レク（カインズホーム）敬老会
- 10月 活動なし
- 11月 活動なし
- 12月 外出レク（ばんどう太郎）外出レク（コンビニ）クリスマス会
- 1月 書初め 新年会
- 2月 節分・豆まき
- 3月 ドライブ（ジョイフル本田）ひな祭り

※毎月1回：音楽療法

### 2. 稼働率

4月	61.7%	5月	82.3%	6月	78.0%	7月	84.5%
8月	76.5%	9月	73.3%	10月	69.0%	11月	82.7%
12月	79.4%	1月	76.5%	2月	80.4%	3月	80.3%

## オークス東海デイサービス

利用者様の有する能力に応じ、可能な限り自立した日常生活を営むことができるよう支援することを目標として、利用者様、家族様の要望に応じ、自宅での生活が維持できるよう支援してきました。

### 1、活動行事

- 4月 お花見お出掛け、船場学童交流会、バイキング
  
- 5月 劇団ひまわり慰問、中学生職場体験（2日間）、バイキング
  
- 6月 外食（魚米）、買い物レク、バイキング  
24日地域防災訓練参加、26日避難訓練（放射能漏れ災害）
  
- 7月 船場学童交流会、バイキング  
16日東海村広域避難訓練参加
  
- 8月 夏祭り、佐野学童交流会、高校生職場体験（3日間）、バイキング  
船場学童交流会
  
- 9月 敬老会（ボランティア慰問）、バイキング
  
- 10月 運動会、おやつ作り、バイキング
  
- 11月 外出（東海ジャスコ）、佐野保育園慰問、百塚保育園慰問、バイキング  
定員35人→40人に変更
  
- 12月 忘年会（だっぺの会慰問）、こども園交流会、バイキング
  
- 1月 新年会、外食（魚米）、バイキング
  
- 2月 節分イベント、おやつ作り、バイキング
  
- 3月 ひな祭りイベント、船場学童交流会、こども園交流会、バイキング

### 2、稼働率（平成30年11月～定員35人→40人に変更）

4月 78.3% 5月 78.2% 6月 75.7% 7月 79.7% 8月 79.9% 9月 80.1%  
10月 85.3% 11月 75.0% 12月 67.3% 1月 64.4% 2月 68.6% 3月 69.2%

居宅介護支援事業所 オークス東海

1. 契約者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護	5	4	2	1	3	13	6	11	7	5	4	3
支援	1	3	1	0	0	0	2	2	0	0	2	0

2. 実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護	68	68	65	66	72	76	82	89	89	86	87	84
支援	26	26	27	29	26	25	26	24	21	20	21	21

3. 新規利用・復帰利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護	5	1	2	3	8	7	8	10	3	2	6	5
支援	1	3	1	2	0	0	2	2	0	0	2	2

4. 利用中止・休止者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護	0	1	5	2	2	3	2	3	3	5	5	8
支援	3	3	0	0	3	1	1	4	3	1	1	2

5. 認定調査委託件数：ひたちなか市役所、東海役場、その他の保険者より依頼

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
12	8	11	14	10	12	13	8	8	11	2	3

6. 営業活動について

- ①東海役場やひたちなか市役所窓口に、当事業所のパンフレットを設置。
- ②地域包括支援センターへ当事業所の新規受け入れ可能状況を伝え、新規獲得に繋げる。

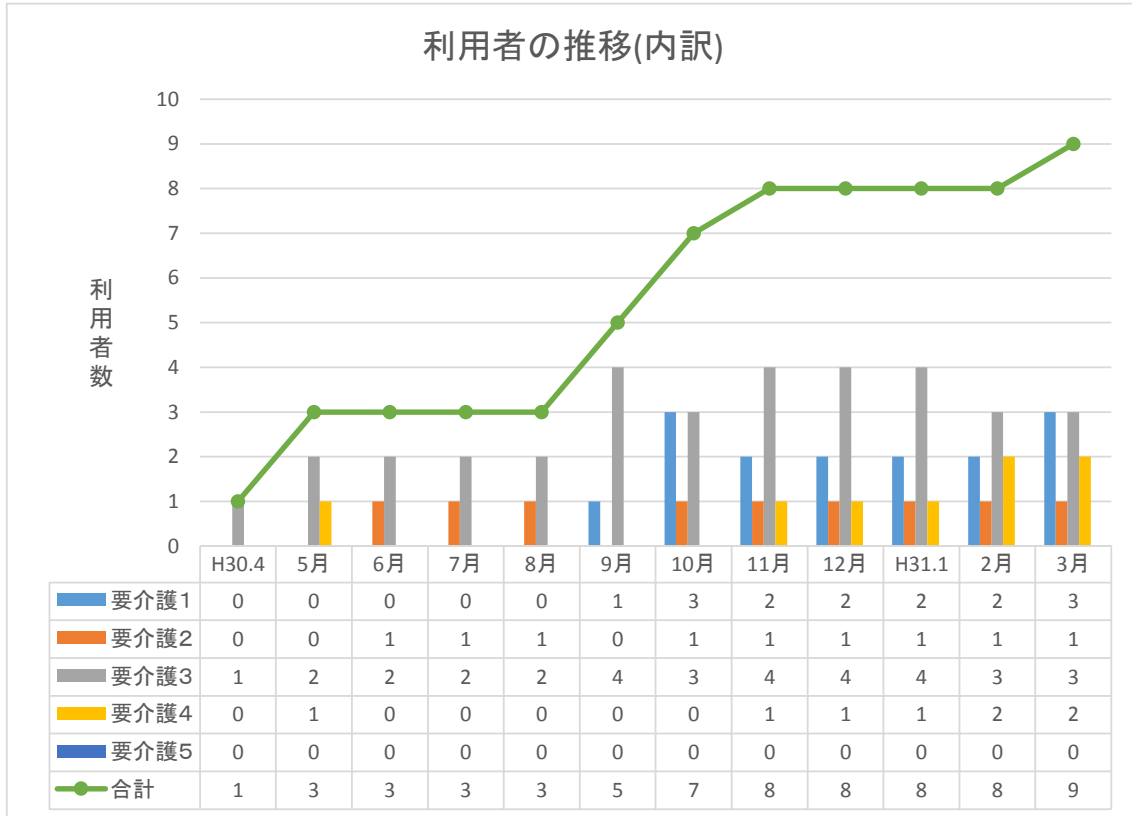
7. 人員配置について

H30年8月に常勤兼務として1名が入職となり、常勤5名（内3名は同法人内の併設事業所の職員と兼務）体制となる。

1. 運営状況報告

(1) 定期巡回サービス利用状況

① 介護度別利用者数、推移(内訳)



平均介護度：介 2.4    平均年齢   ：82.4 歳    男性 4 名    女性 5 名    (31.3 現在)  
 (参考：特養オークス    平均介護度：介 3.6    平均年齢：87.9 歳)

② 利用開始・利用停止の理由

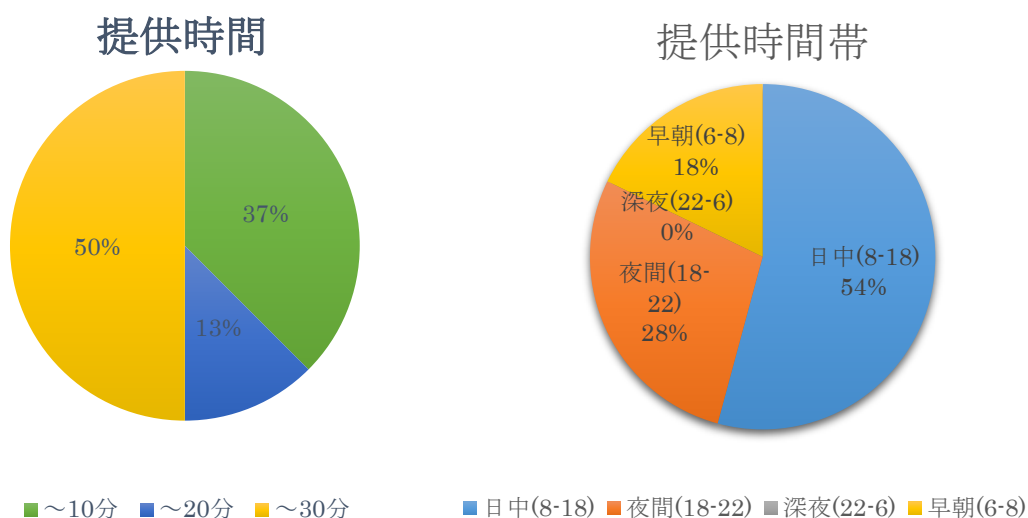
【開始】

安否確認           (3)  
 服薬確認・介助   (2)  
 退院後              (6)  
 ADL 低下           (2)

【停止】

入院→死亡       (1)  
 ADL 向上         (2)  
 入院               (2)

③ 提供時間、時間帯



④ 1日あたりの訪問回数(介護度別)、提供ケア内容

介1 : 1.3回 介2 : 2回 介3 : 2.6回 介4 : 4回

安否確認・見守り 服薬介助・確認 排泄介助 食事の提供 他

⑤ コール対応

時間帯	早朝 (6-8)	日中 (8-18)	夜間 (18-22)	深夜 (22-6)
コール件数	2件	5件	3件	2件
内容	不安訴え(1) 転倒(1)	体調不良(2) 転倒(1) 誤報(2)	誤報(4)	呼吸苦(1) 誤報(1)
対応状況	会話対応(1) 救急搬送(1)	訪問対応(2) 救急搬送(1) 会話対応(2)	会話対応(4)	訪問対応(1) 会話対応(1)

※上記の救急搬送や体調不良時の緊急通報については、随時看護師に連絡し、適切なアドバイスを受け、対応にあたっている。

(2) 職員

- ・定期巡回随時対応サービスの職員は兼務も含めて看護師3名、介護福祉士5名であり、ほかに法人内の看護師も数名登録しているが、通常は看護師含め4名から6名体制でサービス提供を行っている。

- ・アイドルタイム(待機時間)への対応策

法人内特養と兼務のため、業務量が少ない時間帯には他サービス(ユニット)の応援に回るなどして、人員の効率的な運用を図っている。

(3) 訪問看護

・現在、訪問看護は定期巡回の一体型としてのみ提供している。その際、主治医の指示や当事業所の介護従事者と連携しながら、自宅での健康状態の観察・療養上のお世話や日常生活動作の訓練を行っている。

(4) 訪問介護サービス(介護予防・日常生活支援総合事業含む)

・定期巡回・随時対応型サービスに適さない訪問サービスについては、訪問介護サービスで対応している。また、状態の回復から定期巡回・随時対応型サービスから訪問介護サービスに移行しているケースもある。

2. 利用者の生活の質の向上

① 安定した生活

・食事支援と服薬確認のセットなどのケア内容で、1日3回の食事のタイミングで訪問することで、独居であっても安定した生活が可能となる。さらに、生活のリズムが生まれている。

・状態が不安定な利用者でも、サービス提供をしながら必要なサービス回数・内容等に関するアセスメントを行い、そのアセスメントに応じてサービス回数・内容等を適時変更することで、利用者の状態安定に結び付いている。

② 不安解消

・1日複数回の訪問を行うことによって、徐々に人との関わりに自信を取り戻していくことができ、通所サービスの利用につながったというケースがある。結果として本人の孤立と不安解消にもつながっている。

③ 環境整備、自立支援

・ガスの消し忘れが多くなり、鍋等を焦がすようになってきたという状況から、それに対する改善案を提案し、利用者の安全を確保する。また、その環境の変化に適切できるように働きかけを行うことにより、自立して日常生活を営むことが出来ている。



3. スタッフの質・サービスの質の向上

《研修》

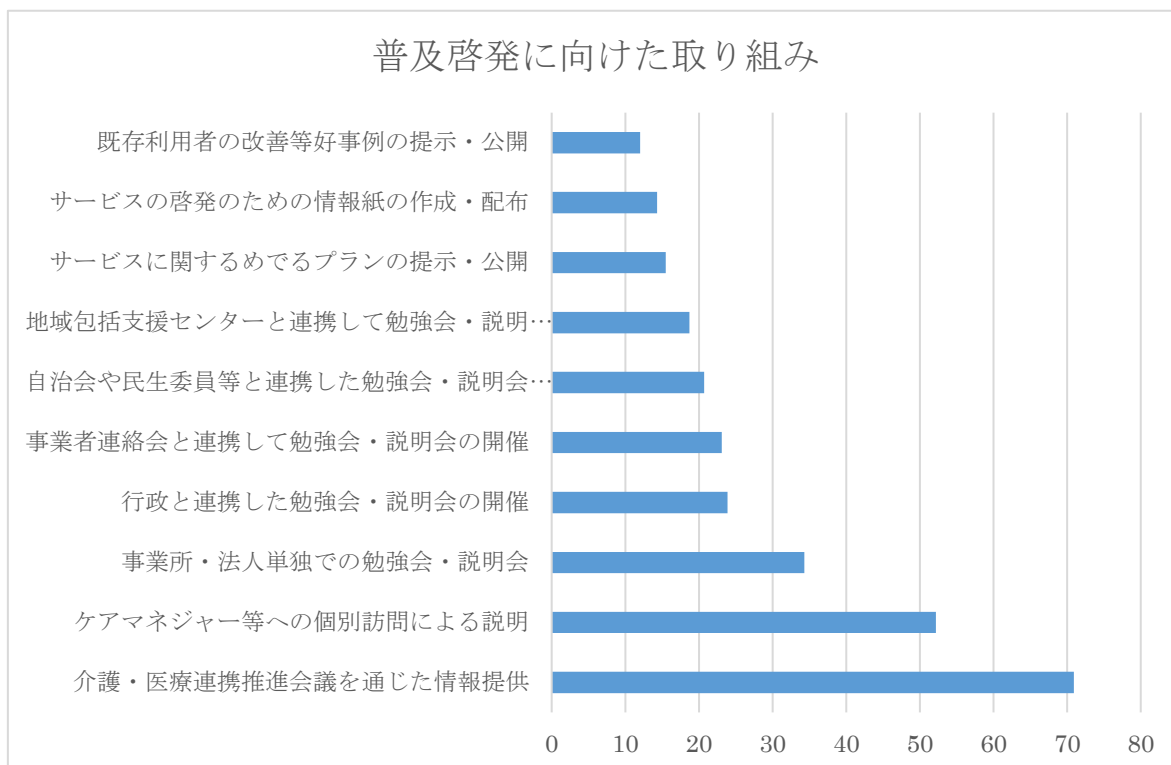
	事業所内研修	法人内研修	個人研修
4月	プライバシー保護に関する研修		
5月			
6月		緊急時の対応 「救急救命講習」	
7月		身体拘束廃止 「スリーロック」 手洗い研修	
8月		消化訓練	
9月		認知症ケア	
10月		ノロ・吐物処理研修	接遇・コミュニケーション技術向上研修
11月		身体拘束廃止 「ドラッグロック」	
12月	伝達： 接遇・コミュニケーション技術向上研修		
1月	リスクマネジメント（事故発生時の対応）		
2月	緊急時対応 （夜間帯編）		
3月		防災研修	

#### 4. 定期巡回サービスの推進

##### (1) 定期巡回運営推進会議の開催

医療関係者を含めた地域の関係者等(利用者、利用者の家族、地域の医療関係者、地域住民、地域包括支援センターの職員等)において、1年に2回、運営状況等について協議・報告し、各関係者より意見を聴取している。

##### (2) 普及啓発に向けた取り組み



(出所) 民介協「地域密着型サービスの生産性向上に関する実態調査」

◎地域の専門職からサービスに対する理解を得ることが、新規利用者の確保のために極めて重要です。

##### ① ケアマネジャーへの周知

- ・個別訪問による説明
- ・推進会議での情報提供

##### ② 医療ソーシャルワーカーへの周知

※会議体経由の情報提供と利用者獲得に直接つなげる営業活動(ケアマネジャー等への個別訪問等)を中心とし、同時に事業所単独あるいは関係機関等と連携した勉強会や説明会の開催等、サービス理解の促進に向けた取り組みを行っている。

## 介護職員初任者研修養成講座

### ①研修期間

第1回 平成30年5月18日～平成30年7月17日

第2回 平成30年9月25日～平成30年11月27日

第3回 平成31年1月25日～平成31年3月19日

### ②研修科目及び研修時間数 (15日間 130時間)

科目	スクーリング	自宅学習
1. 職務の理解	6時間	
2. 介護における尊厳の保持・自立支援	1時間30分	7時間30分
3. 介護の基本	3時間	3時間
4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	1時間30分	7時間30分
5. 介護におけるコミュニケーション	3時間	3時間
6. 老化の理解	3時間	3時間
7. 認知症の理解	3時間	3時間
8. 障害の理解	1時間30分	1時間30分
9. こころとからだのしくみと生活支援技術	63時間	12時間
10. 振り返り	4時間	

### ③各科目の指導目標

1. 職務の理解：介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で、どのような形で、どのように仕事を行うのか、具体的なイメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようにする。
2. 介護における尊厳の保持・自立支援：介護職が、利用者の尊厳ある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点及びやってはいけない行動例を理解してもらう。
3. 介護の基本：介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解でき、介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を捉えることができるようにする。
4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携：介護保険制度や障害者自立支援制度を担う一員として、最低限知っておくべき制度の目的、サービスの流れ、各専門職の役割と責務について、その概要のポイントを列挙できるようにする。
5. 介護におけるコミュニケーション技術：高齢者や障害者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを取ることが専門職に求められていることを認識し、初任者としての最低限の取るべき行動例を理解できるようにする。
6. 老化の理解：加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解できるようにする。

7. 認知症の理解：介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護するときの判断基準となる原則を理解できるようにする。

8. 障害の理解：障害の概念と I C F、障害福祉の基本的な考え方について理解し、介護における基本的な考え方について列挙できるようにする。

9. ことろとからだのしくみと生活支援技術：①介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できるようにする。②尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながら、その人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得できるようにする。

10. 振り返り：研修全体を振り返り、研修を通じて学んだことについて再認識を行うとともに、就業後も継続して学習・研鑽する姿勢と学習課題の認識を図っていく。

④受講生人数（定員10名）

第1回（1名）

第2回（4名）

第3回（2名）

⑤受講料

69,000円（テキスト代含む）

⑥講師人数

20名

⑦その他

受講生のうち、2名は、当法人内で、介護職員として勤務している。